

## 令和5年度通常総会次第

日時: 令和 5 年 5 月 26 日(金)  
15 時～18 時 30 分  
会場: 静岡商工会議所会館  
401 会議室およびオンライン

### 第1部 通常総会

#### 1. 議 事 15:00～15:30

- (1) 開 会
- (2) 理 事 長 挨 拶
- (3) 議 長 選 出
- (4) 議事録署名人選出
- (5) 議 案  
第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び収支決算書報告承認の件  
第 2 号議案 令和 5 年度事業計画(案)及び事業予算(案)承認の件  
第 3 号議案 令和 5 年度役員選任の件
- (6) 閉 会

### 第2部 記念講演 15:45～17:00

#### 演 題

「地域未来レポート Draw our MIRAIZ ～地域から未来を変えていく～」

#### 講 師

西日本電信電話株式会社 静岡支店 ビジネス営業部長  
NTTビジネスソリューションズ株式会社 取締役 静岡ビジネス営業部長  
瀬戸 伸亮 氏

### 第3部 会員交流会 17:15～18:30

静岡商工会議所 4 階 401 会議室

# 第1部 通常総会 議 案

## 第1号議案 令和4(2022)年度事業報告及び決算報告

### I. 令和4(2022)年度事業報告

自:令和4年4月1日

至:令和5年3月31日

令和2年度に、今後を見据えた「SIIA アクションプラン 2021」としてまとめ上げ、その結果を「宣言」として発表した。 <https://www.sii.or.jp/>

「アクションプラン 2021」の実施2年目となった本年度は、その実行から検証のステージに向かうことになった。しかし、昨年度に続き本年度もコロナ感染症の影響を受けて各種事業が予定の変更あるいは中止を余儀なくされ、また会場における対面開催事業のすべてがオンラインとの併催となった一年となった。

そのような中であって、本年度に入ってから3社のICT会員と1名の個人会員の入会があり、早速それぞれの部会に参加され、事業の活性化にも好影響をもたらした。

#### 1. 各部会活動報告

##### (1) 人材育成・教育研修部会

アクションプラン部会宣言:

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

① 昨今の時代を反映した女性の働き方について、「企業における女性の活躍」をテーマに講演会を開催した。(参加41名)

講 師:静岡県立大学経営情報学部 国保祥子准教授

実施日:令和4年5月21日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

支 出:93,000円(講師料、音響設備費等)

② 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施

前編として、「デザインパターン入門編」を開講し、設計・プログラミングの実践的なスキルを習得するための静岡大学情報学部オリジナルカリキュラムを技術者向けに提供した。(参加14名)

講 師:塩見彰睦氏(静岡大学情報学部教授)、野口靖浩氏(同講師)

実施日:令和4年8月4日～6日、9月1日～3日(6日間)

会 場:静岡大学 静岡キャンパス教室

収 入: 420,000円

支 出:1,100,000円

③ 会員ニーズセミナー「リスキリング ～デジタル化の実効性を高める人材育成戦略～」実施(参加42名)

講 師:一般財団法人静岡経済研究所 阪口瀬理奈特任研究員

実施日:令和4年9月29日

会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催

支 出:60,000円

④ 「高校生向けプログラム講座」実施

昨年度も実施した、島田商業高校情報ビジネス科・情報処理部の生徒を対象に、SIIA 会員企業の講師による「Unity によるプログラム講座」を開催した。アンケートを実施した結果、「続きの講座」を求める回答が多くあったため、本年度2回目の講座も実施した。

講 師:中村学園静岡電子情報専門学校 中村健太郎講師及びスタッフ  
実施日:令和4年8月23日及び令和5年2月11日  
会 場:静岡県立島田商業高等学校  
支 出:150,000円(2回)

⑤ 会員向けハンズオンセミナー「AWS 基礎技術勉強会 シリーズ① ～座学で AWS の基礎を学ぶ～」(参加 31 名)

講 師:アマゾンウェブサービスジャパン(株) ソリューションアーキテクト 山崎 博昭氏  
実施日:令和5年2月24日  
会 場:オンライン開催

⑥ 「～自然豊かな環境で、新しい情報産業協会をイメージする～“ワーケーション”」実施  
新型コロナウイルス感染に伴い、海外から国内へと視察先を変えて昨年度から検討してきた。その結果、静岡県内でも実施できる「ワーケーション」を体験することを企画し、昨年度中に実施を試みたものの、コロナ感染の第6波の影響を受けて実施を見送ることとした。そこで、本年度改めて次年度からの本格開催を念頭において、その「試行」のために実施した。参加者からは好評を博すことができた。(参加 8 名)

実施日:令和5年3月13日～14日  
会 場:マウントフジ里山バケーション(運営(一社)エコロジック=富士宮市狩宿 8-2)  
収 入: 64,000円  
支 出:284,442円

⑦ 会員ニーズセミナー「組織のDX 対応スキルセミナー(基礎編)～「ITが苦手な会社」から脱却するポイント～」実施 (参加 8 名)

講 師:米良直樹氏 (株式会社浜名湖国際頭脳センター IT 事業部次長)  
実施日:令和5年3月23日  
会 場:オンライン開催

## (2) ビジネス・マッチング部会

アクションプラン部会宣言:

「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」

① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する企画は、コロナ感染症の影響を受けて変則的な開催となったものの、予定した「年 5 回」開催のうち 4 回の開催を実現した。但し、「会員交流会」については、コロナ感染に配慮した結果、2 度のみの開催となった。

第 1 回:(株)共立アイコム 令和4年4月19日  
会 場:静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
発表者:飯田憲二氏(執行役員)他 2 名  
参加者:23 名(会場 18 名、オンライン 5 名)

第 2 回:(株)アドテクニカ 令和4年7月26日  
会 場:静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
発表者:佐藤直也氏(ソリューション営業本部主任)他 1 名  
参加者:31 名(会場 17 名、オンライン 14 名)

第 3 回:(株)オービックビジネスコンサルタント 令和4年10月25日  
会 場:静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催  
発表者:山本達也氏(静岡支店長)  
参加者:27 名(会場 20 名、オンライン 7 名)

第4回: (株)ユニックス 令和5年2月22日

会場: 静岡商工会議所 401 会議室及びオンライン開催

発表者: 振本剛裕氏(ReNU 事業部)

参加者: 24名(会場 18名、オンライン 6名)

\*「会員交流会(親睦会)」は、令和4年10月25日(第3回会員交流セミナー)

および令和5年3月28日(拡大運営委員会)開催後に同じ会場において、前段の  
会場出席者の参加により開催した。

支出: 87,856円(会場借用料、親睦会経費等)

## ② 「Kintone Café」開催

「今話題のローコード開発ツール サイボウズ Kintone を見て・聞いて・さわってみよう  
～あきらめないで!これから間に合うDX～ローコードを使ったDXとは～」のテーマで、  
「Kintone」で実際にアプリを制作することを主題とした交流会「Kintone Café」を開催した。  
ただ、度重なるコロナ感染症の影響を受けて1回の開催にとどまった。

講師: サイボウズ株式会社 営業本部リージョナル営業部 中部営業 G 吉原克志氏

実施日: 令和4年7月5日

会場: コワーキングスペース =ODEN (静岡市葵区鷹匠2丁目8-10)

支出: 27,500円(会場借用料等)

## ③ 「会員交流サイト」の構築

ビジネス・マッチングの機会を創出するための「会員交流会」の開催と併せ、会員企業の  
「イチ押し」情報などを掲載し、会員交流に資する情報提供を目的とした「会員交流サイト」  
の企画及び実際のウェブサイト基盤の構築を行った。

管理: (株)ウェブサクセス(SIIA 会員)

実施日: 令和4年4月1日～令和5年3月31日(随時対応)

方法: ①リニューアルされた SIIA ウェブサイト「会員情報」欄に、各社が適宜自社情報を  
アップロードできる仕組みを用意した。②「会員情報」をアップロードするマニュアルを作成  
し、全会員に配布した。③令和5年2月22日「会員情報アップロード・ハンズオン解説」  
をオンラインで行った。(担当: ウェブサクセス金指様=人材開拓推進部会)

## ④ 小規模事業者向け DX・業務改善に関するお困りごと相談会

当初予定していた担当副部会長が、途中で就職先を退職し、同時に部会からも脱退され  
たため本事業は遂行できなかった。

## (3) 人材開拓推進部会

アクションプラン部会宣言

「産・学・官の連携を深め、学生へ ICT の魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」

### ① 「大学就職ガイダンス」開催

多くの企業では、情報処理技術者試験の受験を推奨している実情を学生に認識してもら  
うため、IPA から講師を招聘して静岡大学静岡キャンパスで開催した。

講師: IT人材育成センター国家資格・試験部 笠井優一氏

実施日: 令和4年6月30日

参加者: 27名(会場 13名、オンライン 14名)

会場: 静岡大学静岡キャンパス共通教育棟及びオンライン

支出: 170,500円(交通費等)

### ② 「常葉大学就職ガイダンス」開催

「文系学生のための社会人になる前に知っておきたい IT・ICT 業界の話」

(1) 講演: 「キャリアに必要な大切なもの」

講師: 野木秀子氏(KHA コンサルティング(株)代表取締役)

(2)「常葉大 OG・OB による座談会」(同大 OB&OG3名と野木アドバイザー)

実施日:令和4年10月12日

参加者:110名(学生88名、教職員22名)

会場:常葉大学 草薙キャンパス

支出:153,720円(講師料他)

③ 大学生向け「静岡IT企業研究」講座開催

実施日:令和5年2月17日

参加者:1. 参加企業 4社 (株エル・ティー・エス、(株)建設システム、(株)静岡情報処理センター、(株)東京コンピュータサービス

2. 参加学生数 6名

会場:オンライン開催

支出:104,500円

④ 文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」実施

講師:静岡産業技術専門学校教員(3名)

実施日:令和4年12月5日～令和5年2月20日(計8回開催)

参加者:1.オンライン受講13名、2.オンデマンド(動画視聴)受講28名(申込数)

支出:670,791円

(4) 事業総括

本年度も、コロナ感染症の影響で、年度当初の定時総会を始め、殆どの会合、講習あるいはセミナーが対面形式に加えてオンラインで併催する「ハイブリッド開催」となった。

ハイブリッド開催の経験も2年目となり、その功罪も見えて来た。「功」については、参加率が向上したことがあげられる。その反面、オンラインによる会合では、その前後に生じる「アイドルタイム」がなくなるため、本来であれば参加者同士の間で生じる様々なコミュニケーションが失われ、また今後に向けた活動のための種々のアイデア出しの機会も得られなくなるという問題も見えて来た。

三部会の活動も、一部を除き計画通りに実施・開催ができたが、コロナ感染症の影響があったことは否めず、事業内容の変更や延期などを余儀なくされた場面もあった。

本年度、「アクションプラン2021」の実施2年目を迎えて「P・D・C・A」の「D」の段階に入ったが、本年度はその実践を通じて次の「C」(Check=検証)に向けた議論も始まった。

現在の協会事業は、内部では成果が出ていても、それが協会の外に向けた発信力に欠けることで、協会の認知度が上がっていないという問題点の指摘を受けている。

そのような中で、喜ばしいことに新たに3社のICT会員が入会された。これは、協会の存在とその事業が認知されたものであり、事業活動を通じて益々内外に協会認知度を高めて行くことが課題となった。

年度末が近づいてコロナ感染症の鎮静化も見え始めた中で、課題を次年度に申し送ることになった。

(5) 会議交流事業

通常総会、理事会、運営委員会、事業部会および会員交流会を年間事業計画に従って開催した。

① 総会

5月27日 通常総会

② 理事会、運営委員会、事業部会

4月19日 理事会・運営委員会・事業部会

5月17日 //

6月21日 //

7月26日 //  
9月27日 //  
10月25日 //  
11月29日 //  
12月20日 //  
(令和5年)  
1月24日 //  
2月21日 //  
3月28日 拡大運営委員会(理事会)

### ③会員交流会

4月19日 第1回会員交流会  
7月26日 第2回会員交流会  
10月25日 第3回会員交流会・懇親会  
(令和5年)  
2月21日 第4回会員交流会  
3月28日 年度納めの交流懇親会

### (6) 地域連携事業

① JISA (情報サービス産業協会)の会員として活動し、地域高度化事業助成に静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」及び「テスト設計とテスト駆動開発入門編」で応募して採択された。

② 他組織の企画を協会員に対して情報提供や事業協力を努めた。

● SIIA ウェブサイトから随時催行情報などを会員ならびに地域などに向けて発信し、SIIA の周知を図った。

● 県および市ならびに静岡商工会議所の関連事業(地域企業デジタル化推進特別委員会＝理事長が委員就任、事務局長が会議所情報文化部会)に参加・協力した。

● 国、県、市など行政に関する情報を SIIA 会員に適時メール配信した。

● 情報サービス産業協会(JISA)はじめ県内外の情報関連団体の情報受発信に務め、必要な情報を適時 SIIA 会員にメール配信した。

● 県、市に関わる諸団体事業への協力(しずおか男女共同参画推進会議、ふじのくに i-Construction 推進支援協議会、IT 推進コンソーシアム、しずおか DX コンソーシアム、富士山静岡空港利用促進協議会、静岡市公衆無線 LAN 事業協議会等)

● 大学生向け就職情報サイトを SIIA ホームページ上にリンクを張り、情報会員企業情報の提供を行った。

### (7) 広報事業

- ① HP プロバイダー管理
- ② HP 運用管理・コンテンツ保守

2. 会員数:令和4(2022)年3月末現在  
66 会員

#### <会員種別内訳>

ICT 会 員: 32(うち中途入会 2)  
一 般 会 員: 19  
個 人 会 員: 1  
会費免除会員:14

Ⅱ. 令和4(2022)年度決算報告

令和4年度決算報告書

期間:自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

特定非営利活動法人静岡情報産業協会  
静岡市葵区羽鳥7丁目6番37号

## 令和4(2022)年度収支決算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

### <収入の部>

勘定科目	決算額	予算額	比較 増減	備考
会費収入	2,870,000	2,790,000	80,000	ICT会員×30(+半期2), 一般×19, 個人×1, 免除会員14
補助金収入	4,050,000	4,050,000	0	静岡市
事業収入	784,000	2,420,000	△ 1,636,000	
1.教育研修事業	484,000	1,650,000	△ 1,166,000	視察参加費、セミナー講習料等
2.ビジネスマッチング	0	100,000	△ 100,000	交流会費
3.人材開拓推進	0	250,000	△ 250,000	
4.地域連携事業	300,000	300,000	0	JISA交付金
5.その他事業収入	0	120,000	△ 120,000	懇親会会費
	7,704,000	9,260,000	△ 1,556,000	
繰越金より	274,770		274,770	
雑収入	51	274,770	△ 274,719	
1.預金利息	51	0	51	預金利息
<b>合計</b>	<b>7,978,821</b>	<b>9,534,770</b>	<b>△ 1,555,949</b>	

### <支出の部>

(単位:円)

勘定科目	決算額	予算額	比較 増減	備考
事業費	4,170,219	6,100,000	△ 1,929,781	
1.教育研修・人材育成	1,687,442	2,800,000	△ 1,112,558	セミナー・講座開催費、講師謝金等
2.ビジネスマッチング	115,356	570,000	△ 454,644	会員交流会開催、Kintoneアカウント等
3.人材開拓推進	1,099,511	1,450,000	△ 350,489	セミナー開催費、講習委託費、講師謝金等
4.会議交流	401,910	400,000	1,910	会場費等(総会、理事会、運営委員会、事業部会)
5.地域連携	250,000	250,000	0	JISA年会費
6.広報	616,000	630,000	△ 14,000	協会情報内外発信費、HP管理費等
管理費	3,690,323	3,434,770	255,553	
1.人件費	0	0	0	給与・法定福利費
2.事務委託費	2,640,000	2,640,000	0	事務局業務
3.旅費交通費	6,600	10,000	△ 3,400	出張費、交通費、駐車料等
4.通信費	158,485	200,000	△ 41,515	FAX代、電話代、郵送費
5.交際費	12,100	10,000	2,100	香典・見舞金、会合費等
6.印刷費	17,050	10,000	7,050	資料印刷費、理事用名刺等
7.賃借料	198,000	180,000	18,000	クラウドストレージ(セキュアSAMBA)賃貸料
8.水道光熱費	0	0	0	事務局電気料等
9.消耗品費	225,456	0	225,456	Webex、Zoomアカウント4本
10.租税公課	0	0	0	
11.事務用品費	211,152	140,000	71,152	事務局PC他
12.広告宣伝費	31,240	40,000	△ 8,760	
13.諸会費	32,500	20,000	12,500	静岡商工会議所、するが観光企画局年会費
14.手数料	157,740	155,000	2,740	税理士及び登記費用、振込手数料等
15.予備費	0	29,770	△ 29,770	
繰越金へ	118,279		118,279	
<b>合計</b>	<b>7,978,821</b>	<b>9,534,770</b>	<b>△ 1,555,949</b>	



## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人静岡情報産業協会

(単位:円)

借方	貸方
科目	科目
金額	金額
<b>I. 資産の部</b>	
<b>1. 流動資産</b>	
現金	40,545
普通預金	2,681,722
仮払金	0
未収金	4,050,000 (静岡市補助金)
<b>流動資産合計</b>	<b>6,772,267</b>
<b>2. 固定資産</b>	
電話加入権	74,984
<b>固定資産合計</b>	<b>74,984</b>
<b>資産合計</b>	<b>6,847,251</b>
<b>II. 負債の部</b>	
<b>1. 流動負債</b>	
未払金	0
預かり金	0
<b>流動負債合計</b>	<b>0</b>
<b>2. 固定負債</b>	
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>0</b>
<b>III. 正味財産の部</b>	
<b>1. 正味財産</b>	
前期繰越	
正味財産	6,847,251
当期正味財産	
増加額	0
<b>正味財産合計</b>	<b>6,847,251</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>6,847,251</b>

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

摘要	金額
<b>&lt;資産の部&gt;</b>	
<b>流動資産</b>	
現金	40,545
普通預金 静岡銀行呉服町支店	2,681,722
仮払金	0
未収金 (静岡市補助金: 4,050,000)	4,050,000
<b>流動資産合計</b>	<b>6,772,267</b>
<b>固定資産</b>	
電話加入権 INS64設置	74,984
<b>固定資産合計</b>	<b>74,984</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>6,847,251</b>
<b>&lt;負債の部&gt;</b>	
<b>流動負債</b>	
未払金	0
預かり金	0
<b>負債の部合計</b>	<b>0</b>
<b>差引正味財産</b>	<b>6,847,251</b>




# 監査報告書

令和4年度特定非営利活動法人静岡情報産業協会の収支決算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、正確妥当であることを認めます。

令和5年4月24日



監事 上田 和博 

監事 吉兼 正哲 

## 第2号議案 令和5(2023)年度事業計画(案)及び事業予算(案)

### I. 令和5(2023)年度事業計画(案)

自:令和5年4月1日

至:令和6年3月31日

#### 1. 事業計画の概要

令和2年度末には、三部会並びに理事会の参加も得て、今後3年から5年後の当協会のあるべき姿を全体で協議し、「SIIA アクションプラン 2021 宣言」にまとめあげた。

アクションプラン3年目の本年度は、そのような実績の検証から得られた結果から次に向けた改善或いは新たな行動を起こす時になる。

##### (1) 人材育成教育研修部会

「市場や技術の動向を踏まえ、会員のために役立つ情報と学習機会を提供し続けます。」

昨年度に引き続き、市場や技術の動向を踏まえ会員のために役立つ情報と学習機会を提供することに主眼を置き、この部会が有する特性を活かし、DX時代における新たな技術や今後のICT業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、従来と同様に地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育/研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。この技術者育成研修事業には、毎年一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業に応募しているが、本年度も同様に補助金を得て地域ビジネス活性化に資する活動を実施する。

さらに、かつて同部会事業として定着をしていた海外視察研修事業については、コロナ感染症の影響を受けて中断していたが、ここに来て国内に視野を転じることにした。そこで、先進事例など学ぶべき候補地域も視野に入れつつ、昨年度試行したワーケーションの本格的な実施など時代の先端を行く事例の研究を深めて行く。

##### (2) ビジネス・マッチング部会

「会員相互及び産・学・官との交流を活性化し、ビジネスの機会創出をめざします。」

この2年間、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創出を図る機会を増やすことを目的に、会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる仕組みを継続的に行っている。

本年度も引き続き、会員企業の「我が社の一押し」をテーマにした「会員交流会」の開催と共に、各社の特長や特性を訴求することを目的にSIIAのウェブサイト上に各社のコンテンツを逐次更新していく。

これは、公開後に会員交流会を通じて、会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出することを狙いとしている。

また、「小規模事業者向け業務アプリ作成」に関する研究会「Kintone Café」をコロナ禍による開催は困難となった。そこで本年度は、会員企業がこれまで培ってきた技術やノウハウを互いに共有し、協会から外部に目を向け、自治体や小規模事業者が抱える課題解決策について具体的な提案できるような体制づくりを強化していく。

##### (3) 人材開拓推進部会

「産・学・官の連携を深め、学生へICTの魅力を訴求し、次の担い手の発掘をめざします。」

ICT業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元のICT企業の人材確保をテーマに活動する。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などとの教育機関と連携は近年になって更に強まっており、これまで積み上げてきたインターンシップ事業のノウハウ

ウを活かし、大学生の中でも特に文系の学生を対象に、ICT 企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

具体的な方策として、一昨年度から実施している「IT パスポート取得講座」を大学生向けに開講し、併せて会員企業の技術者あるいは経営者などを講師とした「ICT 講座」の継続的開催を目指す。

#### (4) 部会連携プロジェクト（新設）

デジタルトランスフォーメーション(DX)社会が到来し、コロナ禍の影響も受けて働き方や生活環境や地域の経済構造も大きく変わりつつある。

私たちは、このような環境変化を受けとめ、改めて会員の意識統一を図り、地域の商工団体、大学などの教育機関や行政と連携し、デジタル化推進の役割を担える組織をめざしていくことを「アクションプラン2021」で宣言した。

今後アクションプランの宣言をより実効性あるものに向けて行くため、3つの部会を横断した「部会連携プロジェクト」を立ち上げ、「アクションプラン2021」の検証をベースにした議論を活発にして SIIA から外部に向けた発信力及び行動力の向上を目指す。

## 2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会本年度事業を次のように計画する。

### (1) 人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催
  - ・実施時期: 令和5年5月
  - ・開催場所: 静岡商工会議所会議室
  - ・経費予算: 25万円
  
- ② 国内での体験や視察ツアーを実施して ICT 業界の最先端情報を収集
  - ・実施時期: 令和5年6月～令和6年2月
  - ・開催場所: 未定
  - ・実施内容: ワークেশョンを体験し、新たな働き方を知り考える機会を作る
  - ・収入予算: 25万円
  - ・経費予算: 40万円
  
- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施
  - ・実施時期: 令和5年8月～9月
  - ・予定人数: 20 人
  - ・開催場所: 静岡大学
  - ・収入予算: 60万円
  - ・経費予算: 110万円
  
- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施
  - ・実施時期: 令和5年9月～12月
  - ・開催場所: 静岡市内(未定)
  - ・収入予算: 10万円
  - ・経費予算: 20万円
  
- ⑤ 会員からのニーズに応じたセミナーを実施
  - ・実施時期: 令和5年10月～令和6年2月
  - ・開催場所: オンラインまたは集合方式で検討

・経費予算:10万円

- ⑥ 高校生向けに ICT 講座を開催
  - ・開催時期:令和5年8月～12月
  - ・開催場所:未定
  - ・経費予算:10万円
- ⑦ 社会人向けに「IT パスポート取得講座」を開催
  - ・開催時期:令和6年1月～3月
  - ・開催方法:オンライン講習

## (2)ビジネス・マッチング部会の事業

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用した会員交流会(年4回開催)及び「会員ニーズセミナー」終了後の会員交流会を開催
  - ・開催時期:令和5年4月～令和6年2月の間で4回
  - ・開催場所:静岡商工会議所会議室
  - ・経費予算:20万円
- ② 会員企業紹介コンテンツのメンテナンスおよびウェブサイト上への公開
  - ・各社から提供されたコンテンツを SIIA ウェブサイトの特設サイトに公開
  - ・会員企業紹介コンテンツを会員交流会に活用
  - ・開催期間:令和5年4月～令和6年3月
  - ・経費予算:10万円
- ③ 自治体及び小規模事業者向け DX による業務改善課題に対する提案
  - ・地域の ICT 化に寄与するため、ICT に関する専任者がいない組織や小規模事業者が抱える課題に対して、課題をヒアリングして具体的な解決策を提案
  - ・実施時期:令和5年7月～令和6年2月(適宜開催)
  - ・経費予算:10万円

## (3)人材開拓推進部会の事業

- ① 学生向け ICT 講座
  - ・大学生、特に文系学生向けに、IT、業界の魅力を感じてもらい、且つ、資格取得を支援する講座を、年間を通して開催
  - ・経費予算:70万円
- ②「未来志向の学生向けセミナー」の企画・立案、実施
  - ・静岡大学・常葉大学等 SIIA 会員大学での開催を計画
  - ・経費予算:30万円
- ③ IT 系会員企業の採用担当者と県外の IT サービス産業協会等との意見交換会
  - ・会員企業の採用担当者と、県外の IT サービス産業協会等との交流を図る事により採用担当者への知見を広げてもらい、協会の参加のメリットを感じてもらう
  - ・参加企業:10社(20名)
  - ・経費予算:10万円

## (4)調査研究・交流促進および部会連携プロジェクト(PT)事業

- ① 総会時会員交流会を実施
  - ・開催時期:令和5年5月26日(総会・講演終了後)
  - ・開催場所:静岡商工会議所

- ・参加人数:50人
- ・経費予算:10万円

② 理事交流会を実施

- ・収入予算:7万円
- ・支出予算:10万円

③ 総会・理事会・運営委員会・プロジェクト(PT)等の会議開催

- ・経費予算:25万円

④ PTメンバーを地域内外に派遣し、情報収集及び助言・提言活動を行う

- ・経費予算:5万円

(5)地域連携事業

① 業会団体および地域の団体・機関並びに自治体の実施する事業に協力

- i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続

- ・経費予算:25万円

- ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加

- ・収入予算:30万円

- iii. 県及び静岡市が開催する「DX」・「オープンデータハッカソン」等の事業に協力

- iv. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力

- v. 「地域企業デジタル化推進特別委員会」に参加協力

② 西部／東部ベンダー団体と情報連携する。

(6)広報事業

① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)

- ・経費予算:55万円

## II. 令和5(2023)年度事業予算案

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人静岡情報産業協会  
(単位:円)

### <収入の部>

勘定科目	R5年度予算額	R4年度予算額	比較 増減	備考
会費収入	3,020,000	2,790,000	230,000	ICT会員×33、一般会員×18、個人×2、免除会員×14
補助金収入	4,050,000	4,050,000	0	静岡市
事業収入	1,250,000	2,420,000	△ 1,170,000	
1.教育研修事業	950,000	1,650,000	△ 700,000	視察参加費、セミナー講習料 等
2.B-マッチング事業	0	100,000	△ 100,000	
3.人材開拓推進	0	250,000	△ 250,000	
4.地域連携事業	300,000	300,000	0	JISA交付金 等
5.その他事業収入	0	120,000	△ 120,000	懇親会
	8,320,000	9,260,000	△ 940,000	
繰越金より	118,279	274,770	△ 156,491	
雑収入	0	0	0	
1.預金利息	0	0	0	
<b>合 計</b>	<b>8,438,279</b>	<b>9,534,770</b>	<b>△ 1,096,491</b>	

### <支出の部>

(単位:円)

勘定科目	R5年度予算額	R4年度予算額	比較 増減	備考
事業費	4,950,000	6,100,000	△ 1,150,000	
1.教育研修	2,150,000	2,800,000	△ 650,000	静大研修、視察研修、セミナー・講演 他
2.B-マッチング	400,000	570,000	△ 170,000	交流会会場設営費、ウェブサイト保守、提案活動費
3.人材開拓推進	1,100,000	1,450,000	△ 350,000	大学生向け講座・セミナー
4.会議交流	500,000	400,000	100,000	総会、理事会、運営委員会、部会及びPT運営費等
5.地域連携	250,000	250,000	0	JISA会費
6.広報	550,000	630,000	△ 80,000	Web等協会情報内外発信費 等
管理費	3,488,279	3,434,770	53,509	
1.事務委託費	2,640,000	2,640,000	0	人件費他(事務所経費含む)
2.旅費交通費	10,000	10,000	0	出張費、駐車料 等
3.通信費	200,000	200,000	0	FAX代、電話代、郵送費、インターネットプロバイダー 等
4.交際費	10,000	10,000	0	
5.印刷費	20,000	10,000	10,000	名刺、資料の印刷代
6.賃借料	0	180,000	△ 180,000	オンラインストレージ使用料(令和4年度のみ試行)
7.水道光熱費	0	0	0	
8.ソフトウェア費	230,000	0	230,000	Webex、Zoomアカウント費用等
9.租税公課	0	0	0	
10.事務用品費	100,000	140,000	△ 40,000	事務用品
11.宣伝広告費	40,000	40,000	0	静岡商工会議所名刺広告費
12.諸会費	35,000	20,000	15,000	静岡商工会議所、するが観光企画局等年会費
13.手数料	175,000	155,000	20,000	会計士費用、司法書士費用、振込手数料 他
14.予備費	28,279	29,770	△ 1,491	
<b>合 計</b>	<b>8,438,279</b>	<b>9,534,770</b>	<b>△ 1,096,491</b>	

### 第3号議案 役員選任の件

(1) 理事の候補者は次のとおりであります。

氏名(五十音順)	所属と役職
赤堀弘英	静岡商工会議所 中小企業相談所 所長
宇賀田栄次	国立大学法人静岡大学 学生支援センター 教授
漆畑晃司	(株)エル・ティー・エス ITSM Outsourcing 部 部長
久保田光二	(株)静鉄情報センター 代表取締役社長
小林裕敏	(株)共立アイコム 専務取締役
齊藤弘幸	(株)コサウエル 代表取締役社長
鈴木裕	(株)静岡情報処理センター 代表取締役社長
瀬戸伸亮	西日本電信電話(株)静岡支店 ビジネス営業部 部長
日詰一幸	国立大学法人静岡大学 学長
藤谷典宏	(株)ユニテック 代表取締役社長
松林一弥	静銀 IT ソリューション(株) 執行役員
松澤正典	(株)SBS 情報システム 代表取締役社長
村松克己	(株)電算インフォメーション 代表取締役社長
米良直樹	(株)浜名湖国際頭脳センター IT 事業部 次長
以上 14 名	

候補者と当協会の間には特別の利害関係はございません。

(2) 監事の候補者は次のとおりであります。

氏名(五十音順)	所属と役職
上田和博	鈴与システムテクノロジー(株) 監査役
吉兼正哲	静岡ガス・システムソリューション(株) 代表取締役社長
以上 2 名	

候補者と当協会の間には特別の利害関係はございません。